「指宿の地域資源の探究:鹿児島大学法文学部と指宿高等学校の連携事業」

プロジェクト参加教員

石田智子(人文学科多元地域文化コース 准教授)、吉田明弘(人文学科多元地域文化コース 准教授)、兼城糸絵(人文学科多元地域文化コース 准教授)、馬場武(法経社会学科経済コース 講師)

役割分担:石田=全体統括・文化資源の調査研究、吉田=自然資源の調査研究、兼城= 文化資源の調査研究、馬場=地域資源のマネジメント

助成額

185,200 円

プロジェクトの目的

鹿児島大学法文学部と鹿児島県立指宿高等学校の連携事業を通して、地域資源に対する理解を深め、地域で活躍する人材育成に貢献することが目的である。特に、指宿を中心とする南薩の地域資源(文化資源・自然資源)を新たに発見して調査研究を進めるとともに、地域マネジメントの視点を組み込むことで今後の活用にむけてのシステムを構築する。身の回りの地域資源の価値を高大連携事業で新たに照射し、各専門分野の専門知識や調査方法・技術を用いて記録化・可視化することで、将来にわたって安心して住み続けることのできる魅力あふれるまちづくりに寄与する基礎データを提供する。

具体的なプロジェクトの内容

本プロジェクトは、鹿児島県立指宿高等学校の総合的な探究の時間「柏葉」における地域課題の解決を目指す探究活動(柏葉 ACTIVA)との連携を通して、鹿児島大学法文学部の多様な専門知を地域に埋め込む取り組みである。特に、フィールド分野(考古学・地理学・文化人類学)の教員を中心に地域資源(文化資源・自然資源)を発見するとともに、最新技術や研究方法を適用して新たな価値づけを行う。さらに、地域マネジメントの視点を組み込むことで、多様なコンテンツの活用事例を提案し、地域の魅力を発信する。

令和4年度は、大学と高校の関係構築を主目的としてプロジェクトを実施した。まず、7月26日に行われた指宿高等学校の柏葉一日総合大学で法文学部教員3名による出前授業を実施し、大学と高校の意識を共有した。次に、8月10日に合同ワークショップ「指宿の未来への贈りものプロジェクト」を鹿児島大学で開催し、高校生と大学生が直接交流し、意見交換する場を設定した。鹿児島大学から17名(学生13名・教員4名)、指宿高等学校から34名(生徒31名・教諭3名)が参加し、多角的視点から積極的に議論することで、地域課題の認識や調査方法、成果のまとめかたなどに関する理解



写真1 合同ワークショップ議論風景



写真 2 合同ワークショップ成果発表



写真 3 COCCO はしむれインタビュー



写真 4 指宿市観光協会インタビュー

を深めた(写真 1・2)。さらに、12 月 17 日に指宿高等学校で行われた柏葉 ACTIVA 校内発表会に鹿児島大学から 13 名(学生 9 名・教員 4 名)が参加し、高校生の発表を踏まえて意見交換を行った。複数回のイベントを協働で実施し、相互に往来することで、連携事業に対する考えや期待を共有するとともに、大学および高校のカリキュラムや学生たちの考えかたに対する理解を深めた。

また、12月17日には指宿巡検を実施した。特に文化財と観光に焦点をあて、指宿市 考古博物館時遊館 COCCO はしむれ(写真 3)および指宿市観光協会(写真 4)にて聞 き取り調査を行った。指宿市における文化や観光に関する現状と課題に関する重要な知 見を得た。今年度のプロジェクトで得た成果を踏まえて、郷土資料の記録化・可視化な どの具体的な作業を今後進める予定である。

具体的なプロジェクトの成果

令和 4 年度に実施した鹿児島大学法文学部と指宿高等学校の連携事業によって、相互関係の基盤を構築した。地域課題の解決を目指す探究活動(柏葉 ACTIVA)における高校生の活動内容やつまずきやすいポイントを理解するとともに、大学や学生がもつ専門知や技能の特長や活用方法を把握したので、今後の連携事業をより効率よく進めることができる予定である。今年度の事業を通して鹿児島大学法文学部の地域における存在感を示したとともに、連携事業に参加した学生たちは適切な方法論や観察視点に基づいて地域の状況を認識し活躍する人材となることが期待される。高校および大学のカリキュラムや年間スケジュールを共有したため、次年度以降の事業計画を検討中である。

また、指宿巡検で調査した指宿市考古博物館時遊館 COCCO はしむれや指宿市観光協会には、「鹿児島の近現代」教育研究センターで進めている事業についてご理解いただき、今後の協力もお願いすることができた。

今年度のプロジェクトの成果は報告書としてまとめ、連携事業にご協力いただいた関係者や機関に配布した。高大連携事業の具体的内容や参加者のコメントを年度ごとにまとめることで、事業計画の参考や改善につなげる。指宿高等学校にも配布し、探究活動における生徒たちの経験を学年をこえてつなぐ資料としても活用予定である。

プロジェクトの成果物

<報告書>

石田智子編『指宿の地域資源の探究:鹿児島大学法文学部と指宿高等学校の連携事業報告書』、2023年3月1日.

<講演>

石田智子「指宿の未来への贈りものプロジェクトー鹿児島大学法文学部×指宿高等学校 ー | 、柏葉-日総合大学基調講演、鹿児島県立指宿高等学校、2022 年 7 月 26 日.